

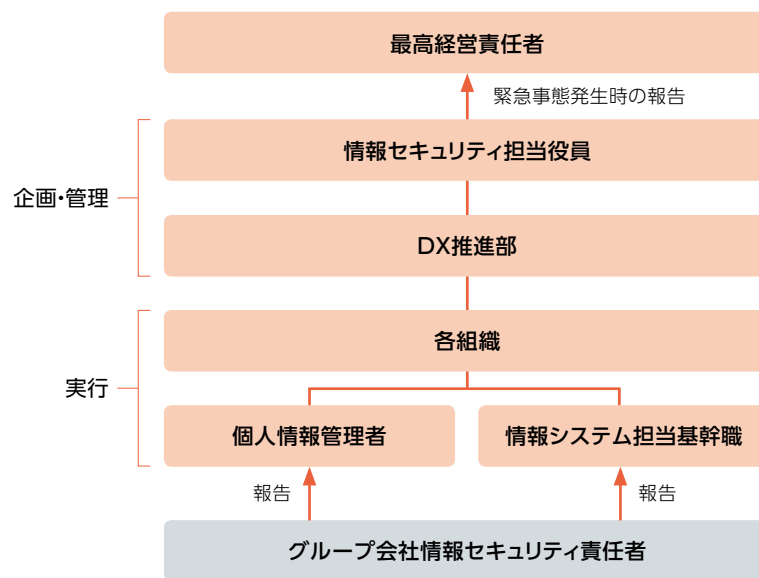
サイバーセキュリティの確保と 個人情報管理

サイバーセキュリティの基本方針

味の素グループは、お客様の情報および会社の機密情報を厳密に取り扱うとともに、「情報セキュリティに関するグループポリシー」とこれに紐づく情報セキュリティ規程、各種の基準、ガイドラインを策定し、サイバーセキュリティの確保に全社を挙げて取り組んでいます。

情報セキュリティの管理体制

味の素(株)の各組織またはグループ会社において情報セキュリティに関する事故その他の緊急事態が発生した場合に、最高経営責任者まで報告がなされ、適切に対応できる体制を整えています。



個人情報管理の徹底

味の素グループは、お客様情報等お預かりしている個人情報を安全に管理するため、ルールと手順を明確にし、これを関係者に周知することにより、組織的な業務管理を実践しています。

味の素(株)では、「情報セキュリティ規程」に紐づく「個人情報取扱ガイドライン」を設け、具体的な手続きを明確に定義しています。このガイドラインは、ISO 27001 (情報セキュリティマネジメントシステム) の考え方に基づいて作成されています。

業務を外部委託する場合においても、社内同等の管理レベルを維持するため、委託先の業務・システム状況に関するアセスメントを実施しています。また、お客様からお預かりするキャンペーンやアンケートの個人情報の収集にあたっては、各組織長の責任のもと個人情報管理者を選任し、個人情報の収集、保管から廃棄までの管理を行う責任者と担当者、収集した個人情報にアクセスして利用する可能性がある関係者を明確化して、お客様の個人情報をより厳格に管理する体制を構築しています。

考え方

GRI418-DMA

▶ 情報セキュリティに関するグループポリシー

体制

GRI418-DMA

実績

GRI418-DMA

情報セキュリティの取り組み

2019年度の主な情報セキュリティ教育

- ・味の素グループラインマネージャー対象研修：4回実施、計275名受講
- ・味の素(株)新入社員への情報セキュリティテスト：88名受講
- ・味の素(株)全従業員へのeラーニングによる情報取扱ガイドラインの理解度テスト：3,434名(93.5%)受講

上記のほか、味の素(株)では、役員・従業員を対象とした標的型メール攻撃対応訓練を実施しています。

機密情報の流出防止に向けた継続的な取り組み

日本においては、主なグループ会社で利用者の不正な振る舞いを自動検知するシステムを標準パソコンへ導入し、管理を徹底しています。

また、国内外グループ会社のWEBサイトを対象に、年1回、外部サービスを活用したセキュリティ診断を実施し、継続的な脆弱性対策を講じています。

セキュリティ点検

味の素(株)では毎年定期的に全職場セキュリティ点検を実施しています。主な点検項目はIT機器や機密情報、個人情報の管理状況等、情報取り扱いの基本的事項です。外部クラウド・サービスの利用および管理状況についても、毎年チェックしています。